

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
1	神戸	全県	つたえよう阪神・淡路大震災 体験の継承・防災減災啓蒙・復興まちづくり活動インターネット放送事業	1.17ブロードバンドTV	4	1	～	9	30	インターネット番組	・防災・減災を伝えるため実施された各種行事の記録を、インターネット動画放送を通して次世代へ継承する。 ・510行事1,425時間の番組を、海外へも情報発信。 ・震災継承、防災・減災行事の貴重な記録とともに、防災教育として活用。	7,500
2	神戸	全県	東日本大震災復興支援 頑張れ!東北元氣アップコンサート	公益社団法人日本吹奏楽指導者協会関西支部	6	8	～	6	9	宮城県名取市内 仮設店舗・仮設住宅	・名取市の復興仮設市場等からの要請を受け、東北での復興支援コンサートを開催。 ・仮設住宅、ゆりあげ港、閉上さいかい市場において東北学院中学の吹奏楽団とともに演奏、東北被災地との交流を図った。 ・防災意識の向上を図り、兵庫県内報告を行い防災・減災の重要性を伝えた。	2,000
3	神戸	全県	～心の手をつなごう 東北の子ども達・神戸の子ども達～ 絵画を通じた東北支援活動 命の一本桜プロジェクト	アトリエ太陽の子	10	1	～	3	25	アトリエ太陽の子 13教室、東北被災地の小学校、県内幼稚園・集会所	神戸の子供達が東北の子ども達に思いを寄せて描いた復興のシンボル「命の一本桜」を東北へ届ける ・被災地の学校で創作の授業を実施 ・被災地の仮設住宅集会所にて子どもから大人の方へワークショップを開催 ・県内にて、東北支援活動報告会を開催	2,060
4	神戸	全県	「災害から地域をまもるん」まずいのちキャンペーン	ひょうご防災劇場	7	1	～	12	3	兵庫県下幼稚園、関係機関	幼児を対象に成長過程に合わせた、日常の中での防災の基本となる防災教育絵本、動画を作成。 ・県内幼稚園、関係団体に配布。 ・幼稚園、親子、地域の子育てグループでの読み聞かせや、動画により日常から防災意識の向上と絆づくりを支援。	幼稚園621園 関係機関100カ所
5	神戸	全県	未来の宝 東北の子どもたちに夢と希望と絆の架け橋プロジェクト	未来の宝 夢と希望と絆の架け橋プロジェクト実行委員会	7	30	～	8	3	しあわせの村人と防災未来センター 広域防災センター	東北(宮城県塩竈市)の子どもたちを招待し、淡路、神戸の子どもたちや高校生が、合宿・交流しながら、震災について学ぶ。 ・人と防災未来センター、兵庫県広域防災センターで講話の防災学習を行った。	75
6	神戸	全県	東日本大震災復興支援フォーラム	NPO法人放射線問題をのりこえ世界一の福島を創る会兵庫県事務所	7	1	～	11	7	大手前大学 さくら夙川キャンパス	東日本大震災復興フォーラムの開催 ・放射線に対する正しい知識の習得。 ・各分野(伝統文化・食育・救命救急・音楽療法等)からの復興支援について発表してもらい連携を深めた。 ・兵庫県より東日本の創造的復興を目指した今後のかわりについての提言を発信。 ・復興のシンボルとしてりょうぜん太鼓の披露。福島県民との交流。	150
7	神戸	全県	台湾・東北・神戸 被災地を繋ぐアート・インスタレーション「白屋」	阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク	8	3	～	11	7	デザインクリエイティブセンター神戸・KIITOみなのもり公園	被災地の市民、住民が集い各地の市民や住民が共に復興まちづくりを語る活動を実施。 ・被災地の住民がパネルに絵を描いた「白屋」(仮設家屋)を巡回展示し、東北、神戸、台湾の被災地で復興街づくり活動をひろめ支援。 ・ビエンナーレ神戸2013にて「復興まちづくりフォーラム」を開催	100

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
8	神戸	全県	定点観測を通じた震災復興まちづくり交流	From KOBE大榎町復興支援ネットワーク	8	9	～	11	4	人と防災未来センター、みなとのもり公園	大榎高校生と神戸大学生が行った大榎町内の定点観測写真を展示。 阪神・淡路大震災の災害復興定点観測写真により、復興まちづくりの経験を大榎町に伝えた。	100
9	神戸	全県	第13回レスキューロボットコンテスト	レスキューロボットコンテスト実行委員会	8	10	～	8	11	神戸サンポーホール	「技術を学び人と語り災害に強い世の中をつくる」を理念に防災意識の向上を目指し、毎年神戸でレスキューロボットコンテストを開催。 ・レスキューロボットに搭載のカメラ映像を頼りに模型の街から要援護者を救助するアイデア、優しさ、はやさを競う。 ・併設行事として参加型の防災教育イベントも開催。	5,921
10	神戸	全県	室内合奏団THE STRINGS第12回室内楽コンサート「震災復興支援チャリティ・防災推進公演」	特定非営利活動法人 室内合奏団 THE STRINGS	8	24	～	8	24	カトリック夙川教会	音楽を通して2つの大震災の犠牲者を偲び、震災で得た教訓を今後予想される東南海・南海地震対策に活かして備えるコンサートを開催。 ・コンサートで、司会者から地震対策の準備、津波への備えを説明。 ・会場で防災グッズ、非常袋の実物の展示や広報パンフレットを配布し啓蒙を実施した。	120
11	神戸	全県	第4回学生防災書道展	特定非営利活動法人健康まちづくり推進協会	9	1	～	2	28	原田の森ギャラリー	防災書道展の開催 ・兵庫県及び東日本被災地の小中高校生を主体に、防災救命、震災復興をテーマとする書道作品を公募し、優秀な作品を600余点展示・表彰。 ・展示会場にて知事賞など一部入賞者を表彰する。	6,806
12	神戸	全県	震災を知らないボクたちが震災を考えること	NGO Future Code	9	1	～	9	22	教信寺法泉院	ハイチ大地震の被災地の復興を撮影したフォトジャーナリスト鍋島直子氏の写真展 神戸の高校生によるワークショップ・チャリティコンサート、募金活動を実施 トルコ大地震を経験したトルコ人留学生とともに防災について理解を深めた。	1,300
13	神戸	全県	レッドヘア火育サバイバルキャンプ(仮称)	特定非営利活動法人プラス・アーツ	9	14	～	9	15	神戸市立自然の家	阪神・淡路大震災の被災者から教わった防災の教訓や知恵をもとに考えた体験型防災プログラムで、生き抜く知恵や道具の使い方を学び困難な状況にも対応できる人間力を育むキャンプを開催。 ・語り部の話 ・火起こし体験 ・紙食器づくり ・避難所体験 ・炊き出し訓練 ・防災体験ワークショップ ・救命救急ワークショップを実施。	90
14	神戸	全県	救命意識の高揚で心室細動死を撲滅しよう	神戸市心肺蘇生法を広める会	10	1	～	3	23	県下各施設	神戸市、姫路市、尼崎市、伊丹市、神埼郡の福祉センター等の公共施設、保育園、幼稚園、小学校、介護施設等で救命を含めた応急手当の普及推進を行った。 ケガの手当法とAED心肺蘇生法を組あわせた、市民救命士講習会の開催。 体験講習会の開催	378

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
15	神戸	全県	防災ウォークラリー	特定非営利活動法人 兵庫県レクリエーション協会	10	1	～	3	31	大久保小学校、新長田駅	神戸と淡路のまちの避難経路や避難所、防災倉庫、備蓄倉庫などをコースとしたウォークラリーを実施。 ・地域の人、家族を対象に居住地の身近なところで防災について学習した。	226
16	神戸	全県	第5回みなと町神戸ツデーマーチ・震災モニュメントウォーク	神戸ウォーキング協会	10	5	～	10	6	みなとのもり公園	全国からのウォーキング参加により、復興した神戸の被災地を全国に発信。 ・人と防災未来センターの見学コースを設定。(5コース) ・会場では、東日本震災パネル展等を開催、東北への応援メッセージも発信。 ・神戸市消防の協力を得て、地震体験車「ゆれるん」で、参加者に震度体験。	1,880
17	神戸	全県	神戸・東北 つなげよう音楽の絆・ひろげよう防災の輪 神戸JAZZ2013 Students meet 熱帯ジャズ楽団	神戸JAZZ実行委員会	10	6				ジーベックホール、自然の家、神戸文化ホール	中高生とプロによるジャズフェスティバルを開催、音楽で結ばれた絆を通じて、青少年に防災の重要性を伝えた。 ・防災特別推進員による、防災セミナー、避難訓練を実施。 ・ホームページやFacebookにおいて、石巻と神戸との交流や防災・減災の啓蒙活動を逐次紹介。 ・宮城県石巻北高校生、石巻吉住中学生を招き、復興の現状を聞くなどの交流を実施。 ・ネット中継による全国配信で、神戸・宮城の被災地交流を紹介。	1,186
18	神戸	全県	“心にのこる世界の名曲シリーズ” 「フェニックス倶楽部コンサート.VOL9」	フェニックス倶楽部	10	24	～	10	24	兵庫県立芸術文化センター	「震災を忘れない、伝える、備える」ことを出演者・観客が深く心に刻み、阪神・淡路大震災及び東日本大震災の被災者を励まし、復興を願うコンサートを開催 ・出演者全員で古今の名曲約20曲を合唱。 ・会場に大震災のパネル・写真・グッズ等を展示し震災時の記憶や教訓を共有。	380
19	神戸	全県	災害から障がいを持つ仲間を守ろう～3年間の軌跡～東日本大震災 被災作業所復興応援イベント	ガリレオクラブインターナショナル	3	14	～	3	16	umie MOSAIC 花の広場	東北から障がいを持っている方を招き、震災を乗り越えた神戸の作業所のみなさんと交流会を実施。 ・メリケンパークにて作業所の自主製品を販売する東北応援市を開催。	3,500
20	神戸	全県	女性のニーズや多様性への配慮のできる災害支援者育成事業	NPO法人女性と子ども支援センターウイメンズネット・こうべ	10	30	～	10	31	神戸市男女共同参画センター あすてっぴKOBÉ	災害時に起きる事や支える仕組みを理解し、特に女性や高齢者、障害者などに配慮した支援活動の出来る人材を育成するための講座を開催。 ・講師予定 東日本大震災女性支援ネットワーク池田恵子氏、早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員浅野幸子氏	26
21	神戸	全県	東日本大震災復興支援「防災シンポジウム」	特定非営利活動法人うえるねす・コア21	10	1	～	3	31	兵庫県民会館県民ホール	学識者による東日本大震災被災地での高齢者や介護者の実態や民間団体による阪神淡路大震災の継続支援の実態を報告。 復興途上にある東北被災地の現状と支援活動についての講演や、ディスカッションにより多くの市民に再認識してもらい、防災意識を啓発。	100

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
22	神戸	全県	シンサイミライPROJECT2014～新しい防災学習プログラムの構築と活用～	NPO法人Co.to.hana	11	1	～	3	31	神戸のまち	これまで蓄積してきた防災学習プログラムをWEBサイトに掲載し、小中学校をはじめ多くの人が自由に活用できる仕組みを作成。 作成したWEBサイトを使い、いくつかの小中学校で防災学習プログラムの試験的活用を実施。今後の運営やサイトの改良につなげる。 シンサイミライ/ハナによるメッセージにより神戸の教訓や想いを東北をはじめ全国に発信。	10,000
23	神戸	全県	地域と学校で取り組む避難支援と避難所体験のライブ発信事業	近畿市民安全講座企画ユニット	11	1	～	3	1	須磨区竜が台小学校、西宮勤労会館他	県内各地の学校・地域センターにおいて、災害時に備えての、パンブーハウスによる避難体験等の実施。	512
24	神戸	全県	A室内安全対策の動機づけ～実施までのB女性・団塊世代対象の室内安全対策技能研修会C要援護者支援としての家具固定実施	特定非営利活動法人 安心安全まちづくり機構	10	1	～	3	31	兵庫県下の自治会館ほか	家具固定を中心とした室内安全対策の実施率の向上を目的研修会等を実施。 ・教材作成 住まいにおける室内安全対策の動機づけとした。 ・家具固定を中心とした研究会 女性や団塊世代の人たちが自身で室内安全対策ができる講習会。室内安全対策のプレイヤーの育成。 ・要援護者宅にて家具固定を実演・実施。	48
25	神戸	全県	HAT神戸まちびらき15周年記念イベント-Happy Active Tours in HAT神戸-	HAT神戸中心街区協議会	11	10				HAT神戸地区周辺	阪神・淡路大震災からの復興のシンボル・プロジェクト「HAT神戸」のまちびらき15周年記念イベント。 主催者挨拶において、防災や地震災害等の備えの大切さを説くとともに、復興の歩みや震災の教訓を伝えた。	369
26	神戸	全県	民団防災対策委員会「阪神・淡路大震災19年事業」	韓国民団兵庫県本部防災対策委員会	11	1	～	3	31	兵庫韓国文化教育院会館、各支部会館ほか	民団防災の日事業として、防災に関する講演会、避難訓練、心肺蘇生法、炊き出し等を実施。 阪神・淡路大震災19年事業の実施。 東日本大震災と地域を考える集いの開催。	1,000
27	神戸	全県	災害と障害者のつどい 南海トラフ巨大地震・大津波に備える～障害者はどう生きるか～	特定非営利活動法人兵庫障害者センター	11	1	～	2	1	神戸市勤労会館	兵庫区の共同作業所と長田区のエコールKOBÉ(福祉専攻課)にて津波避難訓練を実施。 訓練の実施結果を受けて、今後の障害者支援体制の整備に役立つよう取りまとめた。 「災害時に障害者がどうそなえるか」について人と防災未来センターの研究員の講演会を実施。	130
28	神戸	全県	防災カルチャーの実践	兵庫県隊友会神戸西支部	11	1	～	3	31	県立三木森林公園内	「災害に備える」「被災に耐える」「復興へ歩み始める」をテーマに減災セミナーを開催。 被災時の打たれ強さ、手法の体験を目的に水防等の訓練や炊き出し体験など減災訓練の実施。	317

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
29	神戸	全県	兵庫県社会保険労務士会シンポジウム～ 今、われわれが災害から学ぶべきこと～	兵庫県社会保険労務士会	11	1	～	11	30	神戸文化ホール	各分野の専門家が、防災、減災、復興について議論し、県民一人ひとりが、災害について関心を持つ契機とした。 ・基調講演 講師：露木茂「ニュースから見る現代社会～被災地を歩いて～」 ・パネルディスカッション テーマ「災害からの復興と防災を考える～専門家からの提言～」 シンポジウムの内容を11月に60分のラジオ特別番組として放送。	263
30	神戸	全県	東日本大震災の復旧・復興支援と阪神・ 淡路大震災20年検証事業(その1)	兵庫県震災復興研究センター	11	1	～	3	31	神戸市産業振興センター ほか	阪神・淡路大震災18年8ヶ月にわたる調査・研究活動と13回にわたる検証作業の成果を踏まえ、20年検証事業をまとめ広く発信。 報告書を活用したシンポジウムセミナーの開催。 報告書を国内外のメディア、政府や国会、研究機関、NGO,NPOに配布。 ・情報発信のツールとして開発した全自治体宛のメールソフトを補修し、活用。	10,000
31	神戸	全県	希望が花咲く日 追悼コンサート	希望が花咲く日イベント実行委員会	11	1	～	3	9	人と防災未来センター	命の大切さを伝えるコンサート、そして希望と光を胸に共に歩む素晴らしさを分かち合う日として、追悼と希望に関連する曲と届けた。 阪神淡路大震災追悼コンサートの開催。 東日本大震災追悼コンサートの開催。 被災経験者の方を招待し、子ども、学生の参加を促し、復興と追悼について考える機会とできた。	390
32	神戸	全県	被災地交流フォーラム2104	被災地交流一万人市民団	11	1	～	3	31	神戸デザインクリエイティブセンター-KIITO	阪神淡路大震災被災地に、台湾、中越、東北、四川等各被災地から招いた人たちを招き、被災地市民団結フォーラムを開催し、被災地交流を実施。 被災地市民交流会、被災地学生交流事業会、復興交流FromKOBEなどの活動を応援し、今後も自らも参加する市民団を目指す。	100
33	神戸	全県	1.17は忘れない、防災のこころを伝える絵手紙展	特定非営利活動法人 ニイテイ	11	1	～	3	31	人と防災未来センター	防災のこころを伝える絵手紙ワークショップを各地で開催し、その絵手紙を人と防災未来センター(1.17を含む3週間)に於いて展示し、語り継ぐことの大切さを確認。 東日本大震災の犠牲者への追悼と、被災地の子どもたちへの心の支援として、11月初旬に鷯住居小学校、釜石小学校、名取市美田園第三仮設住宅で、絵手紙を展示、寄贈。	28,000
34	神戸	全県	「1.17希望の灯り」を用いたランプワークデ モンストレーション	ジャパンランプワークソサエティ	11	9	～	11	11	デザインクリエイティブセンター 神戸	震災犠牲者鎮魂のシンボルとして灯り続ける「1.17希望の灯り」の分灯をランプの火種に用いて、国内外アーティストによるガラス工芸のデモンストレーションを実施。灯りに託された鎮魂と再生への思いを紹介。 来場者に東遊園地の「慰霊と復興のモニュメント」を訪れることで、防災・減災への理解を深めた。	800
35	神戸	全県	ひょうご・防災フェスタ	波止場音横丁実行委員会	11	10	～	11	10	兵庫楽農生活センター	兵庫楽農生活センター秋の収穫祭と同時開催でひょうご・防災フェスタを開催。 ・ふれあいステージでは子ども達と楽しみながら防災対策を学べるオリジナルダンスを行った。 ・米国発の地震発生時のシンプルな「安全行動1-2-3」= Shake Outを実施。 ・防災体験コーナーを設置し、市民救命士によるAEDの実演、消防のユニフォームでの撮影、100円の防災グッズ展示や、フェニックス共済加入促進等を実施。 ・災害を想定した炊き出し。	2,750

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
36	神戸	全県	第3回KOBEMARASON開催記念「感謝と友情、東日本大震災復興支援 チャリティーライブ	NPO イベントサポート兵庫	11	16	～	11	16	JR三宮駅前・花壇広場	福島県で震災復興に取り組んでいる福島県立茨木高校音楽部を迎え、阪神・淡路大震災の被災地である県立星陵・夢野台・市立六校アイランド高校生との交流や合同演奏会を実施。 東北出身の民謡歌手によるチャリティーコンサートの実施。 甲南高等学校によるジャズコンサート、名取市仮設住宅での演奏活動報告を実施。 「しあわせ運べるように」を全員で合唱。	2,300
37	神戸	全県	HAT神戸連携防災イベント「イザ！美かえる大キャラバン！2014」	HAT神戸連携防災イベント「イザ！美かえる大キャラバン！」実行委員会	12	1	～	1	26	HAT神戸エリア	「ひょうご安全の日」である1月17日を捉え、防災、国際、アートをキーワードとしてHAT神戸エリア関係機関が連携し、楽しみながら防災が学べる防災教育アートプログラム「イザ！カエルキャラバン！」を核として、効果的なイベントを開催。 消防部門を中心とする行政の各機関や防災教育に取り組む学校機関、NPOをはじめとする市民団体などと連携し、国内災害規模の防災教育をテーマとしたイベントを実施。 前夜祭では防災教育で先進的な活動をする講師を招き、講演会兼勉強会を開催するとともにブース出展団体が集まり活動内容の発表	1,500
38	神戸	全県	阪神・淡路大震災 防災減災行事記録継承事業	1.17防災減災行事記録継承委員会	1	1	～	2	14	インターネット番組	・震災10周年時より、防災減災関係シンポジウム等のビデオ記録撮影を実施。50年後の社会に伝える事業を記録。 2013年1月に実施の8行事20番組を撮影・編集し、保管。 防災減災事業の記録は、震災体験のない学生等やマスコミ関係者に震災を正しく理解させる教材として有効活用されている。	6,000
39	神戸	全県	キッズ防災検定	特定非営利活動法人 検定協議会	12	1	～	3	31	兵庫県下の小学校、ウェブサイト	阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かし、日々の生活の中で、防災に対する意識を楽しみながら高める検定を実施。 県下の小学校に参加者を募り、子ども向けの防災検定を試験方式で行い、合格者には認定証を発行。	16,000
40	神戸	全県	災害かたりつぎ研究塾	災害かたりつぎ研究塾実行委員会	12	7	～	12	8	人と防災未来センター、神戸市立地域人材支援センター	・災害かたりつぎ研究塾in兵庫の実施 ・日本全国の災害の語り継ぎ活動の関係者が集まり、活動の質の向上、防災活動の推進を図るための合宿形式で実施。 ・兵庫県で行われてきた活動について、震災を語り継ぐための方策を検討。 ・災害語り継ぎに関するシンポジウムの開催 ・阪神淡路大震災から18年、中越地震から9年、東日本大震災から2年と、語り継ぎ活動を比較し、時間の経過による語り継ぎの変化を共有。 ・今後の語り継ぎについて、市民と共に考えた。	81
41	神戸	全県	写真展を通じた大槌×神戸震災復興交流	被災地学生交流事業会	1	4	～	3	31	デザインクリエイティブセンター-神戸	大槌高校生と神戸大学生が大槌町を歩き、浸水域等を含めた定点観測(約200地点)を行った。 定点観測の写真と震災前の写真を比較する形で、神戸で写真展を開催。 被災地の学生同士が、交流し、活動報告を行った、そして今後の復興に活動に活かす。	100

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
42	神戸	全県	ラジオで発信ひょうご安全の日のつどい	震災教訓発信ラジオ実行委員会	1	10	～	3	11	ひょうご安全のつどい会場・メモリアルウォークコース	メモリアルウォーク西コースからの随時生中継を実施。ラジオパーソナリティが、震災当時を振り返りながら、リスナーと防災について考える機会とできた。 安全の日のつどい会場限定ミニFM放送を開局。来場者(避難者等)へのインタビューや出展ブースの紹介を中継、ラジオ関西の番組とつなぎ、広(近畿エリア)に発信する。 平日日中という時間帯であり、カーラジオ等で視聴する多くのリスナーが、防災・減災を考える機会とできた。	ラジオ放送
43	神戸	全県	災害メモリアルKOBE 2014	災害メモリアルKOBE実行委員会	1	11	～	1	11	人と防災未来センター	阪神・大震災と東日本大震災という二つの災害を踏まえて、人のつながりやコミュニティのつながりの大切さを語り合うイベントを実施。 イベントに先駆け、震災での体験とその後についての特別事業を小中学校で実施。 ・これまでの取り組みを振り返り、今後発生するであろう震災への備え等について議論。 ・次世代の育成、世代間交流による語り継ぎ、地域間交流により、市民の防災力を高めた。 ・成果をHPや報告書、DVD等の媒体にし、多数の人に防災意識や防災力の高揚に貢献できた。	250
44	神戸	全県	阪神・淡路大震災19年 東日本震災4年メモリアル「一行詩」と「絵画」「書・華道」展“結”	日本機関紙協会兵庫県本部	1	11	～	1	13	兵庫県民会館(小展示室)	被災者と一般市民から募集した「一行詩」(テーマは夢)と、絵画・書・華道を展示。 震災の風化を防ぐため、阪神・淡路大震災時の被害状況を示す写真パネルを展示。 「つながりあい”結”」の中で生きているという阪神淡路、東日本での教訓を思い出し、防災意識を高めることができた。	256
45	神戸	全県	1000人の歌声を響かせる 1.17震災祈念コンサート～神戸～東日本 これからも共に～	阪神淡路大震災メモリアルコンサート実行委員会	1	12	～	1	12	兵庫県立文化体育館	観客とともに歌い、震災を祈念するとともに、東日本復興の思いを込めて歌うコンサートを開催。 南三陸町、三陸鉄道とも中継を結び、現地の様子を知るとともに、共に歌うことで復興を支えいく思いが育った。 かつての被災地神戸から東日本へ復興を祈念する気持ちを伝えることができた。	2,200
46	神戸	全県	1.17震災メモリアル行事「阪神・淡路大震災を忘れない～21世紀を担う私たちの使命～」	1.17震災メモリアル行事実行委員会	1	15	～	1	15	兵庫県立舞子高校	舞子高校生、地域住民、兵庫県防災ジュニアリーダーや防災教育に取り組む県外の高校生も参加し、交流、情報交換を行い、阪神淡路の大震災の教訓を学び、今後の災害に備えた。 国際防災ミーティングに来日した、ネパール、中国、スリランカの高校生も招待し、防災交流した。今後、兵庫県での活動を日本全体、そして世界へと広げていく。	1,300
47	神戸	全県	第10回追悼コンサートいのりのとき～あの日を、あなたを忘れない～	追悼コンサートいのりのとき実行委員会	1	17	～	1	17	神戸新聞 松方ホール	神戸市民で構成した合唱団が、音楽を通して追悼と震災の記憶を伝えた。 震災への思いを込めた「いのちのメッセージ」朗読や震災時のパネル写真展を行った。 音楽による追悼と、震災の記憶を風化させず、次世代へ継承し、防災への意識向上の取り組みを実施。	653

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
48	神戸	全県	1.17～3.11朗読でつなく 明日への記憶	復興支援コンサート実行委員会	1	17	～	1	17	人と防災未来センター	震災への想いを綴った詩を、その作者や市民の朗読を通して、記憶や経験を語り継ぐ重要性を発信。 1.17で得た経験を継承、全国に発信し、防災意識を向上。 全国から詩の作者の参加があり、震災体験の継承が行えた。	120
49	神戸	全県	東日本大震災被災地と結ぶ阪神・淡路大震災19周年メモリアル集会	阪神・淡路大震災救援・復興兵庫県民会議	1	17	～	1	17	神戸市勤労会館 大ホール	福島在住の方を招き、東日本大震災発生から2年10ヶ月後の福島原発事故の現状を話していただき、認識を深め相互交流と連帯の強化を進めることが出来た。 阪神・淡路大震災の19年後の現状報告と、自然災害被災地の復旧・復興のあり方の検討を行った。	285
50	神戸	全県	1.17神戸震災復興フリーライブ「ONE HEART」	西神戸センター街親交会	1	17	～	1	17	西神戸センター街	今回で10回目である復興ライブ。1.17にライブを行うことにより、震災を忘れないこと、「命の大切さ」を訴えた。 東日本大震災の被災者であるアーティストによるライブ、阪神淡路大震災で被災した地元長田のアーティストの参加や小学生音楽隊の「しあわせ運べるように」を合唱。	500
51	神戸	全県	阪神・淡路大震災19年 児童・生徒、教職員 追悼の夕べ	兵庫県教職員組合	1	17	～	1	17	ラッセホール	犠牲となった児童・生徒、教職員への献花、追悼のうた「しあわせ運べるように」(神戸市立桂木小学校合唱団)、黙祷・1.17への思い。 兵庫県教職員組合執行委員長、兵庫県教育長が震災以後の兵庫の防災教育実践、東日本大震災支援活動、今後の防災教育への取り組みを語った。 震災を体験した、教職員やボランティアによるメモリアルコンサートや復興への歩みについてのスピーチ。	260
52	神戸	全県	阪神・淡路から20年 東北へのメッセージ	震災と労働を考える実行委員会	1	18	～	3	9	神戸市勤労会館	震災とアスベストを考えるシンポジウム ・阪神・淡路大震災時のアスベスト飛散状況について ・復旧活動に従事した人々の曝露状況 ・東日本大震災時のアスベスト対策について 震災と心のケアを考えるシンポジウム ・阪神、淡路大震災時で出来たこと、出来なかったこと ・東日本大震災時の心のケア活動 ・救済者の惨事ストレス解消対策 二つのシンポジウムを通じ、被災地・東北に阪神・淡路の経験則を発信出来た。	220
53	神戸	全県	阪神淡路大震災1.17は忘れないKOSMA主催 第8回合唱フェスティバル	KOSMA	1	19	～	1	19	新長田勤労市民センター別館 ビレホール	阪神・淡路大震災の経験を踏まえて、来場者とともに合唱により共感を深めた。 ひょうご防災特別推進員による講義を実施。 20周年に向けて、災害への備えや対応について発信できた。	344

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
54	神戸	全県	国際防災・人道支援フォーラム 2014	国際防災・人道支援フォーラム実行委員会	1	20	～	1	20	神戸ポートピアホテル	会員の国際防災・人道支援活動の活動を紹介。 基調講演「リスクを知って備える巨大災害時の要援護者対策」 特別講演「南アジア地域の災害時要援護者対策」 パネルディスカッション 阪神・淡路大震災を経験し、東日本大震災の支援を先導してきた「兵庫」から減災社会実現に向けた国際防災協力についての提言を国内外に発信できた。	200
55	神戸	全県	兵庫県理容組合防災シンポジウム	兵庫県理容生活衛生同業組合	1	20	～	1	20	ホテル北野プラザ六甲荘 会議室	阪神・淡路大震災では、多数の組合員が被災し、甚大な被害があった。その経験を踏まえ、災害時の迅速な防災対策の研修会を開催。 ひょうご防災特別推進員による講習。 東北三県の理容組合の復興の現状報告を行い、今できる災害対策を検討した。	105
56	神戸	全県	国際復興フォーラム2014～災害復興における官民連携～	国際防災復興協力セミナー実行委員会	1	21	～	1	21	神戸ポートピアホテル	国連等の国際機関や行政、関係団体の情報共有や知見の交換を行うため、国際復興フォーラムを開催。 復興に果たす民間セクターの役割に焦点を当て、官民パートナーシップや事業継続計画(BCP)などの企業独自の取り組みの情報共有をはかった。 公共セクター、民間セクターの復興の取り組みのポストHFA(兵庫行動枠組)への反映を考える。 21カ国、34機関からの参加を得て実施できた。	155
57	神戸	全県	第7回災害対策セミナーin神戸	財団法人神戸国際観光コンベンション協会	1	22	～	1	23	神戸国際会議場	地域防災シンポジウム(防災功労者表彰、市民参加型パネルディスカッション等)を開催。 ・「国難」に備えることの意義～減災の知恵の共有 各団体主催シンポジウム・セミナーを同時開催。 防災関係者や一般市民が減災について共に学び、議論することで、地域の減災力の向上と減災対策の推進に資することが出来た。	2,000
58	神戸	全県	第14回比較防災学ワークショップ～みんなで防災の知恵を共有しよう～	比較防災学ワークショップ実行委員会	1	22	～	1	23	神戸国際会議場	テーマ「国難と都市災害:来るべき国難にどのように備えるべきか」 ・講演「何が明らかになったか」南海トラフ地震の減災を目指した科学研究費補助金と文部科学省委託事業の3つのプロジェクトの理念・達成目標の紹介と成果。 ・発表「研究の最前線をさぐる」各プロジェクトのサブプロジェクトからの研究のプレゼンを行い、内容の共有を図った。 プロジェクトの研究を通して、パネリスト、参加者と議論を行い、減災力の向上と減災対策の推進に資することが出来た。	184
59	神戸	全県	歌劇ビジュア公演「1.17リフレイン あの想いを伝える」	ネザールンズ・センター	1	22	～	1	26	人と防災未来センター	震災のもたらした苦しみと立ち上がる人々の勇気を歌とダンスを交えて、様々な年代の方に理解しやすく構成した歌劇を上演。 人と防災未来センターにおいて、1日2回講演を5日間実施。 人と防災未来センターが訴えるテーマがより深く人々の心に届くと共に、より多くの人に訪れてもらうきっかけとできた。	738
60	神戸	全県	第9回競基弘賞授賞式及び記念講演会	特定非営利活動法人 国際レスキューシステム研究機構	1	22	～	1	22	神戸国際会議場	阪神・淡路大震災で亡くなった神戸大大学院生にちなんで設立された「競基弘賞」の授与式及び記念講演会を開催。 大震災が端緒となったレスキューロボットの最先端の研究内容や取り組みの成果を発表し、安全安心のまちづくりに寄与。 ・災害対策シンポジウムと同時開催。	80

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
61	神戸	全県	第4回防災市民サミット&防災救命訓練	特定非営利活動法人ユニバーサル・スポーツ振興協会	1	31	～	2	2	県立美術館原田の森ギャラリー	主に高齢者、障害者、介護者などの健康運動指導に関わる指導者向けの救急救命士講習会の開催。 東日本大震災被災地復興支援活動に関わる講演会開催。	80
62	神戸	全県	第5回防災士シンポジウム in KOBE	特定非営利活動法人 兵庫県防災士会	2	2	～	2	2	神戸学院大学 ポートアイランド キャンパス講義室	大規模災害に備え防災士が自治体・自治会との連携、今後の取り組みを方策するためのシンポジウムを開催。 ・基調講演「阪神・淡路・東日本の教訓を南海トラフ巨大地震対策へ」 神戸市消防局予防部長 巨大地震の備えて地域防災力向上に向けた取り組みについてパネルディスカッションを実施	400
63	神戸	全県	第5回防災・社会貢献ディベート大会	防災・社会貢献ディベート大会 実行委員会	2	7	～	2	15	神戸学院大学 ポートアイランド キャンパス	「高校」「大学・一般の部」に分かれて防災・社会貢献に関する議題について討論。 「震災後の復興のあゆみ-阪神淡路大震災、東日本大震災-」をテーマにパネル展を開催。 学生審査委員を登用、東北と地域の学生の復興した神戸の街歩き、東日本の復興を学生が撮影した写真展。 東日本大震災後の課題や得られた経験等防災・社会貢献に関連する議題について参加者全員で議論。	2,900
64	神戸	全県	～1.17メモリアルコンサート～ フォーレ「レクイエム」	神戸室内オペラ	2	9	～	2	9	北神区民センター ありまホール	鎮魂コンサートで、鎮魂の名曲フォーレの「レクイエム」を上演。 会場ロビーで防災関連のパネル展示。 東北の被災動物救済のための募金を募った。	220
65	神戸	全県	巨大災害と難病患者	兵庫県難病団体連絡協議会	3	2	～	3	2	神戸市勤労会館	難病患者の災害への意識を喚起するためフォーラムを開催 ・「巨大地震災害にどう備えるか」講師：関西学院大 室崎益輝教授 ・「災害時のための難病患者支援の仕組みづくり」コーディネーター 神戸大学 大西一嘉准教授 ・「神戸市災害時要援護者支援条例で何が変わるのか」神戸市都市調整課 ・「患者団体に期待される役割」兵庫県難病連代表	120
66	神戸	全県	地域の防災は絆から！～東日本大震災避難被災者と市民をつなぐ	アジア子ども基金	3	8	～	3	9	永楽館 コウノトリの郷公園 大乗寺	東日本大震災の県内避難者と兵庫県民を繋ぐ交流会を実施し、絆を深めた。 県内避難者の方からは、震災当時の話、避難後の生活、神戸からの参加者には阪神大震災後の話を聞き、話し合った。	50
67	神戸	全県	1.17&3.11 地震なんかには負けへんで！～みんなでつくる防災劇～	劇団自由人会	3	30	～	3	30	垂水勤労市民センター	防災をテーマに子ども達が防災カルタをつくる。 子どもたちとともにひょうご防災特別推進員の話聞いた。	15

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
68	神戸	全県	ひょうご安全の日推進事業 - 1.17は忘れない 追悼の祈りと希望のコンサート -	アスタ新長田スチールパン振興会	3	16	～	3	16	新長田ビフレホール	復興事業の一環として誕生した地元新長田市民スチールオーケストラによる演奏。 宮城県被災地の仮設住宅や復興市場で行った演奏活動の報告、パネル展示。 演奏会を実施した仮設住宅の人達からのビデオメッセージ。 3年目を迎えてもなお存続する被災地の状況を市民に紹介し、継続した支援や被災地との交流の必要性を訴えた。	340
69	神戸	全県	全国防災ジュニアリーダー育成事業プレ大会	全国防災ジュニアリーダー育成事業実行委員会	1	15	～	1	15	舞子高等学校	阪神淡路大震災や東日本大震災を契機に全国の多くの中学生や高校生の若い世代に生じたボランティアに対する意識の高まりをさらに多くの若い世代に情報発信。 阪神淡路大震災20周年に向けた全国ジュニアリーダー育成事業を実施するに先駆け、全国ジュニアリーダー育成事業プレ大会の実施が出来た。	400
70	神戸	全県	阪神・淡路大震災20年の災害報道のあり方研究セミナー	阪神・淡路大震災20年の災害報道のあり方研究セミナー実行委員会	2	28	～	3	28	神戸国際会館	阪神・淡路20年に、マスコミが何を、どのように伝えるべきかのヒントを得てもらうため、関西圏のマスコミ記者、放送ディレクター、アナウンサー等を対象に、研究者やベテラン記者によって、講義を実施。 災害報道を通じた地域社会の安全・安心を確保するとともに、阪神・淡路20年の報道のヒントを提供することができた。	70
71	阪神南	全県	子ども防災交流会 2013 in HYOGO(仮) & 防災・減災啓発ツール開発・実践事業	特定非営利活動法人 さくらネット	11	1	～	3	31	兵庫県民会館、待鳳小学校	子どもを対象とした防災啓発用DVD、パネル・リーフレットを作成し、イベントや訓練等で上映や展示を行い防災意識啓発活動を実施。 作成した防災啓発教材を実践活用し、防災教育の機会を提供。 防災活動・ボランティア活動に取り組む若者同士の交流会の企画、被災地の学生を招待。	1,500
72	阪神南	全県	阪神淡路大震災 チャリティーコンサート～あの日から20年 そして明日へ～	Tioクラブ	11	1	～	3	31	あしやルナホール	防災教育絵本・兵庫県教育委員会発行の朗読劇「あしたもあそぼうね」を上演。 チャリティーコンサートの開催。	363
73	阪神南	全県	関西学院大学災害復興制度研究所 2014年復興・減災フォーラム	関西学院大学 災害復興制度研究所	1	12	～	1	13	関西学院大学、関西学院会館	2014年復興・減災フォーラム「社会が許容するリスクとは～利益相反する復興を考える」を統一テーマに実施。 南海トラフ巨大地震が起これば同じ問題がおこる高知からも関係者を招聘。 被災の体験・教訓語り継ぎ制度の構築や研究交流を図った。 各地で活躍している復興リーダーのネットワークの構築。	240
74	阪神南	全県	ひょうご安全の日推進事業 - 1.17は忘れない 追悼の祈りと希望のコンサート -	公益財団法人アルカディア音楽芸術財団	3	23	～	3	23	兵庫県立芸術文化センター 小ホール	東日本大震災の県内被災者を招待し、追悼と癒しと活力を与える。曲目「アヴェ・マリア」、「アダージョ」短調、「ミサ・プレヴィス」二短調、ほか 被災地域の視覚障害者を招待し災害に備えての共生社会づくりに寄与。 ひょうご防災特別推進員による防災講演会を実施し、防災活動を啓発。 被災地域の追悼、癒しと、未来への活力を与えた。 青少年への地域教育や防災意識啓発の効果を発揮。	260

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
75	阪神北	全県	パパは我が家の防災リーダー！～家族の防災プロジェクト～	特定非営利活動法人 ファザリング・ジャパン関西	7	18	～	3	21	県内の子育て支援施設等	ワークショップや講義を通して親子で防災意識を醸成する。 ・パネルクイズや家の模型を使用して、災害時の家の様子、シュミレーションを行い、生活に与える影響をイメージする。 ・ガラス(卵の殻)を歩く体験、簡易リュックや簡易防寒着づくり、即席タンカ作りと運搬体験 ・ワークショップではそれをベースに防災について話し合う。	126
76	阪神北	全県	第19回兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)犠牲者追悼のつどい あなたの思いを灯してください ～失った命の数を1000の灯火に込めて～	ユー・アイ・アソシエーション	1	16	～	1	17	昆陽池公園南広場	震災翌年の1996年から伊丹昆陽池公園にて開催しているローソクによる追悼事業 開催時より追悼ととも私たちがいかにして生きるかというサブテーマで実施 継続そのものが全国への防災意識の啓発となる。 全国規模の事業として19年間継続し、例年テレビ、新聞等が全国に発信。	2,720
77	阪神北	全県	“東日本大震災を忘れない”大正琴コンサート	三田を知る会	11	1	～	12	5	フラワータウン市民センター	岩手県で被災した大正琴演奏家の演奏及び被災者体験・支援活動の話。 支援活動者や関西に避難している被災者を含めた地域住民との交流。 被災地の状況のパネル展示。	70
78	阪神北	全県	かわにし音灯り2013～震災鎮魂の祈り～	川西市商工会	11	9	～	12	3	川西市総合体育館駐車場	防災活動ブース設置、パネル展示、消防署員による実演演習、起震車の体験。 キャンドルナイト(震災復興への追悼)。 追悼コンサート、防災関連のスクリーン映像等。 大阪府池田市等との交流を通して相互支援の重要性の醸成 被災地の特産品販売	10,000
79	阪神北	全県	～みんなで逃げよう災害時～ 第6回宝塚チャリティ歌謡コンサート	花かわち倶楽部	12	8	～	12	8	ソリオホール	ゲスト歌手、サクソ奏者による震災時の避難所訪問時の話を含めた追悼コンサートの開催。 防災特別推進員「住宅の耐震化」「家具の転倒防止」講演。 震災時のビデオ上映。 会場内から会場外への参加者全員の避難訓練の実施。 宝塚市内に避難している東日本大震災被災者による講演と歌謡コンサートへの招待、参加による交流の実施。	250
80	東播磨	全県	高校生による震災語り部交流会	特定非営利活動法人音づくり 人づくり街づくり	10	27	～	10	27	明石市民会館	東日本大震災の被災地である岩手県大槌高校生と交流会を実施し、震災語り部体験を聞くことにより風化しつつある、阪神・淡路大震災の記憶をよびもどし、今後起こるであろう南海地震に対する対処法を考えた。 ・交流により相互理解、絆を深めることが出来た。	87
81	北播磨	全県	つみっく防災スクール	NPO法人つみっくくらぶ	11	5	～	3	31	小野市中播小学校他	県内各地で大型木製ブロック「つみっく」による計11回の防災イベントを実施。 「秘密基地遊び」「ちびっこシェルター」「避難所のプライベート空間」の変化を、子供を含めたイベントの中で参加してもらえた。 東北震災での使用例の活動報告。	1,330

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
82	北播磨	全県	第15回ボランティアのつどい	ボランティアのつどい実行委員会	1	25	～	1	25	加西市健康福祉会館	防災ボランティア推進に関する講演やボランティア体験発表。災害や緊急時における救急方法についてのミニ講座。ボランティア体験・防災に係る体験。炊きだし訓練。	619
83	北播磨	全県	ひょうご安全の日推進事業「災害対応力を身につけよう!!」	日本赤十字社兵庫県支部	2	16	～	2	16	兵庫県立北条高等学校	避難所を想定し、ボランティアによるボランティアセンターの立ち上げ・運営、救護所の開設。ボランティアセンター設置・運営、炊き出し、仮設診療所設置、救援物資搬送・配布、無線通信訓練。参加者が体験できる健康相談、非常食試食、一次救命処置、傷の手当、災害時に役立つ技術の取得等。災害救援物資や活動紹介のパネル展示等。	400
84	中播磨	全県	この夏、姫路へ、宮城・福島両県から中高生がやってきます！ 中高生たちが発信！東日本大震災の実体験、及び東北復興への思いを語る！	特定非営利活動法人 姫路発中高生のための東日本災害ボランティア	7	29	～	7	29	イーグル姫路あいめっせホール	宮城県亘理町の中高生たちを中心に、被災地の学生が交流。実体験した津波への恐怖、東北復興への思いを県内の中高生に語る。神戸の復興を知り、この思いを東北復興への活力に育てたいと、学生達の成長に重要な行事となった。講演会では、東北で感じた「命の尊さと感謝の心」についてスピーチがあり、今後予想される東南海地震へのメッセージにも感じられ、来場者に防災意識の啓発になった。	285
85	中播磨	全県	ひょうご安全の日協賛・俳句によるまちづくり「播磨芭蕉忌フェスティバル」～防災賞顕彰事業～	俳句によるまちづくりの会「垂流里」	11	17	～	11	17	姫路護国神社・護国会館	防災意識の向上～防災特別推進員により阪神・淡路大震災の教訓の継承についての講義。子どもたちへの防災意識～募集する俳句の中に「防災」部門を設け、俳句創作のなかで防災を考えてもらった。	120
86	西播磨	全県	地域における防災・減災知識の普及啓発事業	NPO法人 ひょうご地域防災サポート隊	9	1	～	2	28	県内地域の公共施設等	県下各地域において、専門的立場からそれぞれの地域に合った防災や減災について知識の普及・啓発を行い地域の自主的な防災力の向上を図った。 地域の減災防災運動の支援 減災防災知識の普及・啓発の事前講座 地域の防災マップづくりの支援 東日本大震災被災地の経験と教訓の共有 被災者、支援団体を招いて津波防災講演会を行い災害経験と教訓を共有	1,800
87	丹波	全県	東日本大震災から3年 忘れない3.11	いのちのうた	3	9	～	3	9	たんば田園交響ホール、	東日本大震災県民ボランティア活動報告を実施。南三陸町語り部による講演会の実施「祈りと絆」コンサート開催を篠山市にて開催。	550
88	神戸	地域	聴覚障害のある児童生徒の防災を考える	神戸聴覚特別支援学校育友会(垂水区)	7	1	～	12	31	神戸聴覚特別支援学校	災害時要援護者(聴覚障害児童)を対象とした防災活動講演会、防災・コミュニケーションセミナー講演会を実施し、震災に対する備えや避難について学習。避難訓練、炊き出し、煙避難体験、防災ゲーム	596

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
89	神戸	地域	神戸市手をつなぐ育成会 ひょうご安全の日の推進事業	一般社団法人神戸市手をつなぐ育成会	7	4	～	12	5	育成会会館等	月刊誌「いくせい」での防災特集 防災講演会「東南海・南海地震に備えて」の開催 緊急連絡等安否確認体制の整備 応急手当講習会 震災体験集による語り部活動の実施	91
90	神戸	地域	朗読でつづる震災の経験・教訓発信事業	朗読でつづる震災手記のつどい実行委員会	1	11				神戸市総合児童センター	朗読でつづる震災手記のつどいを開催し、震災手記の朗読を行った。 阪神・淡路大震災の取り組みをまとめた冊子を作成し、被災地の朗読グループや神戸市内の小・中学校、関係機関、神戸に避難している東日本大震災の被災者に配布。	200
91	神戸	地域	若者ボランティア団体繫一周年記念イベント～東日本大震災の教訓から考える自助・共助～	若者ボランティア団体繫	8	11	～	8	11	人と防災未来センター	東日本大震災の教訓と南海・東南海地震についての講演会の開催。 自分たちができる備えについて、班別のワークショップの実施。	33
92	神戸	地域	本庄五校園防災フェスタin地域のつながり	五校園連絡協議会(東灘区)	8	30				神戸市立東灘小学校	避難所指定場所の東灘小学校の防災かまどで近隣4校(本庄中学校、のぞみ幼稚園、本庄小学校、東灘小学校)と合同の避難者を想定した大規模な炊き出し訓練を実施。 短時間に集中した避難者の誘導も含めたシュミレーション。	1,000
93	神戸	地域	1.17は忘れない 学生がつなぐ震災追悼茶会	特定非営利活動法人いちごいちえ	3	8				有馬グランドホテル雅中庵	追悼茶会の開催 阪神・淡路大震災と東北大震災の資料や防災に関する啓発資料やグッズを集め、仙台の仮設住宅での茶会経験などを踏まえ、参加者に紹介。 茶会の前に学生たちが、震災について何を伝えて行くべきかを学習する。追悼茶席を開催。	80
94	神戸	地域	たるみっ子防災広場	垂水元気なまちづくり実行委員会	10	6	～	10	6	レバンテ前広場	たるみっ子防災広場の開催 ふれあいステージの開催 ぼうさいダンス、笑顔のコミュニケーション術、東北支援歌合唱のほか、舞子高校生によるトークセッション、県民参加ステージなど、楽しみながら防災を考える。 100円防災グッズの展示、市民救命隊によるAED講習、消防士ユニフォーム撮影など その他、東北支援ブース関西被災者ブース、舞子高校生の活動報告 フェニックス共済PRなどを実施。	400
95	神戸	地域	シンポジウム「阪神から東北へ...カレッジの震災支援18年」	特定非営利活動法人 社会還元センター グループわ	10	9	～	10	9	神戸市シルバーカレッジ	震災支援のシンポジウムを開催 東北被災地で取り組んできた支援活動を映像、講演、パネル展示。 阪神大震災時に活躍した卒業生数人、東北支援チームメンバーの体験発表。 宮城県女川町立女川小学校の校長を招き、子どもたちのその後を伝えた。	300

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
96	神戸	地域	1・17を忘れない！須磨区防災福祉コミュニティ大会	須磨区防災福祉コミュニティ等連絡会議	10	20	～	10	20	椿谷公園	地震と津波を想定し、10分間で(消火・救護・救助・避難)活動を行う総合訓練 ・煙テントによる煙体験、水中歩行体験、起震車による地震体験、被覆処理体験、車椅子取り扱い体験等各種体験ブースの設置 雨天により当日中止	(雨天中止)
97	神戸	地域	ファイア・アドベンチャー(小学生総合防災体験学習)	ファイア・アドベンチャー実行委員会 (灘区)	10	22	～	10	22	王子公園サブグラウンド及び動物園ホール	消防署の仕事を寸劇で再現して学習。 地震津波学習、放水訓練、レスキュー体験、煙体験、起震車体験 ・全員での合唱「しあわせ運べるように」 ・震災の教訓を風化させることなく、若い世代に命の大切さや防災への備えの必要性を伝えた。	1,050
98	神戸	地域	～1.17は忘れない～健康いきがい防災フェスティバル	兵庫県健康生きがいづくり協議会	12	5				神戸市勤労会館	家具固定用品取り付けの実技講習。 防災研修会を開催し、阪神淡路大震災を教訓に、予想される巨大地震に備え、命の大切さ、耐震化、津波避難などの対策を検討。 防災ワークショップを開催し、緊急携帯避難用品、備蓄品、避難先、緊急ルート、避難食の種類調査、試食会を実施。 人と防災未来センターの見学会を実施し、各種の防災情報を学習した。	37
99	神戸	地域	大災害に備えて	井吹台自治会連合会	11	1	～	3	31	井吹東地域福祉センター、市立井吹東小学校	ハイテクパーク工業会との連携し、地域総合防災訓練を実施。 ・消火訓練、搬送訓練、AED一般講習、水バケツ、消火栓の消火訓練、炊き出し等 ・マルアイ(株)企業と連携し、要支援者福祉避難訓練を実施。 災害時にスムーズな避難が出来るよう高齢者、障害者の災害時避難者登録。 地域の避難マニュアルを作成。	6,300
100	神戸	地域	1.17の経験と教訓の継承・リメンバー神戸プロジェクト活動「震災の記憶・神戸の壁保存展」	リメンバー神戸プロジェクト	11	1	～	1	31	ジュンク堂書店三宮店ギャラリー	震災から19年、震災の生き証人「神戸の壁」のその保存の意義、保存の歩みを伝えるための展示会を開催 (1/16～1/31) ・「神戸の壁」関係収集物、隠れ文字の実物や基礎の実物大模型を展示。 神戸の壁モニュメントガイドブックや、耐震診断、フェニックス共済など防災関係パンフを配布。 ・震災遺構「神戸の壁」通じて、保存の重要性を伝え、東日本の遺構保存を支援。	7,000
101	神戸	地域	災害につよいまち「竹の台」をつくる 平成25年度域防災教育・訓練	竹の台地区防災・防犯福祉コミュニティ	11	4	～	1	17	竹の台地区・防犯福祉コミュニティ	自主防災組織の指導で小・中学校・地域住民合同の防災訓練、救急訓練(心肺蘇生、AED、三角巾、包帯の巻き方等)を実施。 「安全なまち」をつくるための防災ワークショップの開催。 クロスロード、市民救命士講習会や防災ダック等を取り入れ、小・中学校で防災教室を行い、今後に備えての防災教育の基礎ができた。	5,000
102	神戸	地域	神戸市立夢野中学校1年生の防災体験学習と災害時要援護者支援活動	熊野地区防災福祉コミュニティ	11	13	～	2	22	神戸市立夢野中学校ほか	夢の中学校防災ジュニアチーム養成防災体験学習。 粉末消火器による消火訓練。 煙体験・起震車による地震体験。 可搬式小型動力ポンプによる放水訓練。 油圧ジャッキによる救出訓練及び毛布担架による搬送訓練。	64

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
103	神戸	地域	～大切ないのちと街を守るために～イーストコート7番街防災訓練	六甲アイランドCITYイーストコート7番街団地管理組合	11	16	～	11	16	六甲アイランドCITYイーストコート7番街	イーストコート7番街(マンション)における避難訓練、災害を想定した避難訓練及び初期消火訓練の実施。 「ゆれるん」による地震体験。 救護用担架の取り扱い講習と要援護者搬送訓練の実施。 ペラング仕切り版破壊体験の実施。 非常用アルファ米を利用した炊き出し訓練の実施。	120
104	神戸	地域	震災体験を語り伝えよう・玉津のもちつき炊き出し鎮魂のつどい	特定非営利活動法人神戸環境教育研究所	1	11	～	2	1	玉津第一小学校・長畑地区内公園	玉津地域の住民が共同作業により、炊き出しやもちつきを実施、震災犠牲者に黙祷。 地域住民が助け合うことの重要性を再確認し、震災体験を後世に伝えていく場とした。 自治会組織と協力し、住宅耐震化やフェニックス共済加入促進活動などの啓発活動を実施。 地域での助け合いを再認識し、震災経験を後世に伝え、今後の備えを図った。	2,030
105	神戸	地域	2013KOBE イルミネーションバス運行	KOBEイルミネーションバス運行実行委員会	12	4	～	12	16	福祉施設	市バスにルミナリエを模した電飾を施し、市内の福祉施設等を訪問し、鎮魂と復興のシンボルである神戸ルミナリエの想いを伝えた。 施設利用者や職員の方に、震災への想いを再確認し、防災への意識を強くして頂いた。	2,000
106	神戸	地域	震災 津波 防災について考える会	日吉町5丁目町内会	12	1	～	12	23	日吉町5丁目ボケットパーク	南海トラフの対策について、消防局と地域住民とで話し合った。 炊き出し訓練を実施。 津波についての学習会を開催。	1,200
107	神戸	地域	1.17KOBEに灯りをinながた	1.17KOBEに灯りをinながた実行委員会	1	9	～	1	9	新長田駅前広場	「1.17 ながた」の文字形のろうそくへの点灯、鎮魂ライブ、ろうそくづくりワークショップなどを通じ、交流を図り、震災を知らない世代への啓発を行った。 東日本大震災被災者への支援、交流ブースを解説。 「灯り」に震災でなくなられた方々を偲び、復興の願いを込めることで、防災意識の向上や啓発を図った。	3,000
108	神戸	地域	1.17追悼式	あわせの会	1	15	～	1	17	日吉町5丁目ボケットパーク	1.17を風化させないように小学生と地域住民と一緒に語り合った。 炊き出し訓練を実施。 東北各地や新潟・山古志など、神戸と全国の災害被災地との交流事業を実施。 15日、17日の2日間で実施する。	150
109	神戸	地域	つどい1.17	神戸・市民交流会	1	17	～	1	17	東遊園地	神戸市東遊園地での1.17のつどいにおいて、竹灯籠で1.17の文字を描き、参加者が火を灯し黙祷。 17日の早朝に炊き出し(1,000人分)を実施。 阪神・淡路大震災及び東日本大震災の犠牲者を追悼し、震災の経験を語り継ぐ。	43,000

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
110	神戸	地域	災害に備えて！炊き出し訓練&防災啓発活動	一般社団法人 兵庫県宅地建物取引業協会神戸東支部	1	17	～	1	17	HAT神戸なぎさ公園 交流ひろば	1.17にメモリアルウォークのゴールであるHAT神戸で、災害を想定した集団炊き出し・配膳訓練を実施。 ウォーク等参加者へぜんざい等(1500食)を提供するとともに、防災啓発小冊子等を配布し、防災啓発活動を実施。 不動産業務経験・知識を活かし、来場者の耐震措置など、防災・減災に繋がる情報を提供した。	1,600
111	神戸	地域	神戸500人委員会1.17ウォーク支援炊き出し	こころ豊かな人づくり神戸500人委員会	1	17	～	1	17	HAT神戸なぎさ公園	阪神淡路大震災時に避難所で復興活力となった炊き出しを実施し、参加者に提供。 東北被災者支援活動中の会員より、現在の被災地状況のPRと自身の活動報告を発信し、被災地との連携、支援の輪を広げることができた。 1.17ウォーキングに参加し、大震災に思いを馳せると共に帰宅困難者の支援のあり方を学習。 災害有事に備えて「大規模災害支援活動基金」の募金を行った。	400
112	神戸	地域	防災の方法を学ぼう"カエルキャラバン2013"	市民安全推進委員会	1	18	～	1	18	同朋学園	自衛消防訓練、消火訓練、応急手当 炊き出し料理体験 震災の経験を聞く防災学習の開催 実際に体験することで、防災への取り組みを確認する機会とした。	90
113	神戸	地域	東北復興支援トークライブコンサート、東北マルシェ	絆プロジェクト～神戸のあしあと～	1	18	～	1	18	神戸市産業振興センター	福島県から被災者を招き、当時から現在の状況を聞くなどトークライブを実施。 仮設住宅方が作った、ハンドメイド小物などを販売する東北マルシェを開催。 宮城県の被災者や阪神淡路大震災の被災者への取材をもとにパネル展示を実施。	80
114	神戸	地域	未来に託す地域の子どもたちへ伝える大人の防災教育の大切さ(北区総合防災訓練、要援護者避難訓練実施)	特定非営利活動法人 大原・桂木OKサポート	11	24	～	1	19	神戸北町大原山公園、桂木小学校	要援護者を主とした住民の防災訓練実施、地域全体で支えあう協力体制を構築。 希望の灯り」を点火源とした、地域のとんど祭りを通して、地域の安全と減災を祈願。 とんどの後に、消火訓練、紙食器づくり、炊き出し訓練を実施。	1,000
115	神戸	地域	「1.17は忘れない」震災メモリアル～うおさきフェスタ～震災の記憶を風化させないこととして備えること	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸	1	25	～	1	25	東灘区民センター小ホール	阪神・淡路大震災の追悼を行い、震災で培われた絆の大切さを強い子ものにするため、追悼音楽、朗読、踊り、震災当時のまちの様子展示。 津波避難対象地区である魚崎地区を中心に南海・東南海地震に対し、こどもからお年寄りまでの交流のなか地震安全行動1-2-3を学んだ。	300
116	神戸	地域	アンサンブル神戸第14回特別演奏会～1.17鎮魂と語り継ぐ為に～	一般財団法人アンサンブル神戸	2	15	～	2	15	神戸新聞 松方ホール	一般公募による神戸21世紀混声合唱団とプロの音楽家で構成されるオーケストラが、J.S.バッハの口短調ミサを演奏。 東日本の県内被災者を招待。 演奏を録画し、facebookを通じて、防災や連帯感の重要性を発信できた。	461

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
117	神戸	地域	第7回 防災を考える区民のつどい	防災を考える区民のつどい実行委員会	3	2	～	3	2	神戸市立灘区民ホール	灘防災の賞の贈呈と活動の紹介。 被災地でボランティア活動を行っている神戸大学生や、福島へ派遣された消防職員が、被災地の現状、地震津波災害の教訓について講演。 住民が主体となり防災劇を上演し、インターネット配信。 阪神・淡路大震災、東日本大震災の防火写真展の開催。 防災関連ビデオの上映や住宅耐震化やフェニックス共済のパフレットの配布。	430
118	神戸	地域	1.17をわすれない～帰ってきた1日だけの音楽喫茶	元気村・移動サービス	3	2	～	3	2	リパティールームカーナ	震災当時を思い出し、一日だけの音楽喫茶を復活、阪神・淡路大震災時に実施したががんばろうコーヒーを復活させ、震災体験を語り継ぐことができた。	74
119	神戸	地域	震災19年 いのちの鼓動 輝ける未来へ 第77回こどものためのコンサート	特定非営利活動法人 IMMC	3	16	～	3	16	北野工房のまち3階講堂	こどものためのコンサート「追悼・支えあう大切さ」を開催し、最後には「しあわせ運べるように」「あすという日が」を全員で合唱。 阪神・淡路大震災の教訓の継承とし、震災以後に生まれた子ども達に啓発する。	250
120	阪神南	地域	コスモシティ尼崎安心安全・プロジェクト	コスモシティ尼崎自治会(尼崎市)	7	14	～	12	20	コスモシティ尼崎	夏祭り(水消火器を使っての的当てゲーム(消化器の使い方)、紙食器づくり(災害時の工夫)) 消防・防災訓練(火災通報訓練と避難誘導訓練、毛布を使っての簡易担架づくりと搬送、炊き出し) 防災学習会(マンション設備をしり、災害時での影響を話し合う) 防災関係の掲示と啓発	260
121	阪神南	地域	2013年度7町合同自主防災訓練	7町合同自主防災訓練実施委員会(芦屋市)	9	1	～	10	31	芦屋市立朝日ヶ丘小学校	初期消火訓練、応急救護講習 ・ゲーム形式で防災学習(防災×クイズ) ・防災倉庫・資機材の確認説明。 ・炊き出し訓練	297
122	阪神南	地域	地域の外国人住民との共生災害学習「暮らしの安心・安全2013」	こくさいひろば芦屋(芦屋市)	10	1	～	3	31	芦屋市立潮見小学校、芦屋浜管理センタービルほか	震災体験紹介と震災学習、日本語が理解できない外国人が震災時に困った体験、母国の震災・救援活動等についての紹介、外国人に記録映像をみせ、震災の怖さや対処について発表、避難訓練の実施。 応急救護講習等の体験・学習、ひょうご防災特別推進員による講座、家具転倒防止グッズ、台所火災の消火方法などを紹介・展示・講習について実施。 ・炊き出し、備蓄食品の紹介・試食、子どもや大人の地域交流イベントとして実施。 ・地域表示(避難場所など)などの作成と地域の避難場所や避難経路の確認。	1,500

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
123	阪神南	地域	特養と地域の特養利用世帯における避難計画と訓練	尼崎ゼロメートル地域津波防災研究会	11	1	～	3	28	特別養護老人ホーム けま喜楽苑、喜楽苑	特養利用世帯(災害時要援護者と家族及びその地域を含めた)の避難計画と訓練 大学教授を招いた公開講座 人と防災未来センターの見学会 防災意識の向上と訓練を通じて、地域の連帯感の向上を図り、若年層を含めて地域住民の防災意識のレベルアップを図った。	200
124	阪神南	地域	災害避難訓練	戸ノ内社会福祉連絡協議会	11	10	～	11	17	尼崎市園田東会館 園田東小学校	地震学者寒川旭を招いて震災に関する講演会を実施。 町内会毎に決められた場所に集合し避難場所への避難訓練。 家具転倒防止の実演。 消防署員による参加者体験型実演。 炊き出し。	390
125	阪神南	地域	西大島地区防災訓練	西大島社会福祉連絡協議会	11	14	～	3	9	県立尼崎西高校	自主防災会隊員による地域避難訓練を実施 ・津波を想定した抜き打ち緊急避難訓練 ・尼崎市西消防署、市防災対策課、西宮土木事務所による講話 ・車イス避難再見直し・消火実習・AED操作実習 ・地域要援護高齢者見守り協力員の防災センター等の見学・体験学習での知識の習得により地域対応強化	435
126	阪神南	地域	はらっぱ防災プロジェクト ～みんなで伝え、備え、考えよう～	特定非営利活動法人はらっぱ	11	1	～	3	31	特定非営利活動法人 はらっぱ	震災祈念イベント「あの日を想って」の開催。 ・人と防災未来センター・仁川百合野町地すべり資料館などへの遠足。 ・東日本大震災・原発問題等に関する講演会の実施。 ・子どもの安全意識を高めるため、心肺蘇生講習会、避難訓練、C A P講座の実施。	470
127	阪神南	地域	阪神淡路大震災の子どもたちへの継承事業	社会福祉法人 のぞみ会「浜風の家」	11	1	～	3	31	浜風の家	阪神淡路大震災の体験を子供たちへ継承するため、メモリアルイベントを開催。 震災メモリアルと避難訓練、野外炊事、防災訓練の実施。 追悼コンサート、人形劇、腹話術の実施。 人と防災未来センター見学 防災カルタ	2,254
128	阪神南	地域	「震災を忘れない」連続企画(忘れない集い、笑顔ふれあい祭り) ～高校生・大学生・高齢者など兵庫・東北の人の交流を進め、転倒予防と足腰を丈夫に「率先避難者」になろう！	地域を結ぶ笑顔の会	11	3	～	3	22	尼崎市立小田公民館	「11.5 津波防災の日、震災と津波を考える集い」「1.17 震災を忘れない集い～阪神淡路と東日本の震災」の開催。 東北と兵庫との間で大学生ボランティアも参加して、非常食の試食、体験談による交流などによって震災の学びを進めた。 節目となる第10回笑顔ふれあい祭りを開催し、震災復興住宅の住民及び地域住民に率先避難などをテーマにした寸劇、落語などを行い共助のコミュニティづくりを進めた。	505

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
129	阪神南	地域	自然たんけん ～海辺の生き物さがし、津波防災学習 自然のいのちに触れよう、自然のこわさを学ぼう！	浜・川・山の自然たんけん隊	11	4	～	2	11	夙川河口の御前浜	「11.5 津波防災の日」の前日などに海辺で自然体験イベントを行うとともに震災や津波の問題について学ぶプログラムを実施。 親子参加の募集を行い、子どもたちに津波のクイズなどをし、津波が来れば早く高く遠くに避難することを伝え、練習として浜辺でかけっこ大会・鬼ごっこをして楽しく防災学習を実施。 御前浜にある3mの防潮堤、防潮門扉、阪神大水害の慰霊碑などを見学し、防災学習を実施。	107
130	阪神南	地域	津波避難訓練及び救急救命、防災講演会	鳴尾浜連絡会 防災部会	11	14	～	11	14	西宮市鳴尾浜内各企業及び葉葉鳴尾浜スポーツセンター	津波避難訓練を実施 ・津波避難ビルへの避難訓練 ・避難者受入訓練 ・要援護者、負傷者搬送訓練 地震発生時の一斉安全行動訓練 救命救急・防災講演会	370
131	阪神南	地域	ふれあい芦屋マダン 2014 - 安心・安全・共生のまちづくり -	ふれあい芦屋マダン2014実行委員会	1	4	～	3	30	芦屋市立宮川小学校体育館ほか	ブレマダンとして、外国人被災者に関するシンポジウム「外国人が住みやすい環境づくり～震災から学ぶ～」を開催。 マダンとして、東北震災パネルの展示、家具転倒防止グッズ、備蓄用食材などの紹介、炊き出し、演奏・踊りをステージで実施、東北物産の販売。	2,000
132	阪神南	地域	第九 in にしのみや ～1.17は忘れない～	第九inにしのみや実行委員会	9	1	～	12	1	アミティホール	阪神・淡路大震災の犠牲者への追悼の意と復興への気持ちをアピールするため、ベートーベンの「第九」を市民で構成されたオーケストラをバックに合唱。 会場でフェニックス共済の加入促進、防災啓発チラシを配布。 阪神淡路大震災の東日本大震災の写真の展示。	1,275
133	阪神南	地域	震災に備えよう 1・17追悼メモリアル地域交流餅つき大会	特定非営利活動法人 たまり場	12	22	～	1	12	県民交流広場、グループホーム西宮	地域の連帯を誓い、犠牲者の鎮魂を願う1・17追悼セレモニーの実施。 震災を風化させないように地域が協力して行う餅つき大会を実施し、震災未経験者と共にイベントを実施。 来たるべく震災に備え各地域の避難経路、避難場所を確認する。お年寄りも含め地域で防災を啓発。	200
134	阪神南	地域	台所の防災2013	芦屋韓国朝鮮料理教室	1	6	～	3	27	芦屋市民センター調理室	東日本震災の記録DVDを鑑賞し津波防災学習を実施。 「ひょうご防災特別推進員」を招き、震災情報、台所での防災などを学習。 韓国など隣国での保存食の作成や試食。	63
135	阪神南	地域	～1・17は忘れない～北甲子園口地区防災訓練	北甲子園口連合町内会自主防災グループ	1	19	～	1	19	西宮市二見公園、松並公園、北町ボケットパーク	地域全体としての防災力をたかめるため防災訓練を実施 要援護者避難訓練の実施 可搬式ポンプからと路上消火栓からの消火訓練を実施 炊き出し、備蓄用食料の試食 担架搬送訓練 フェニックス共済制度や家具転倒グッズ等災害対策情報を提供	145

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
136	阪神南	地域	1.17忘れられない町と人々(震災の記憶)	千歳町自治会	1	19	～	1	24	ギャラリー小さい芽等	阪神淡路大震災で亡くなった千歳町住民を偲びプレートを作成し千歳公園と千歳児童遊園に設置 千歳町住民のために防災避難マップを作成 震災前の懐かしい千歳町の町並みの写真展 町内の子どもたちが描いた未来の町並みの壁画展示 千歳公園へのさくら等の苗木植樹	300
137	阪神南	地域	阪神・淡路大震災復興19周年 新春邦楽コンサート(東日本震災遺児奨学金義援チャリティー)	新春邦楽コンサート実行委員会	1	19	～	1	19	芦屋市ルナホール	芦屋三曲協会が中心となり追悼曲・邦楽曲を演奏。 1.17宣言、防災・減災関係のPRチラシを配布。 震災遺児奨学金義援の募金活動を実施。	450
138	阪神南	地域	1.17は忘れない。三条コミスク地域自主防災総合訓練	三条コミュニティ・スクール	2	9	～	2	9	山手夢保育園	三条コミスク地域自主防災総合訓練 阪神風水害の土石流模型の実験 三角巾による応急手当訓練 土嚢積訓練 AEDの取り扱いと心肺蘇生 応急担架作りと搬送訓練等の防災訓練の実施 障害者等要支援者の支援訓練	700
139	阪神南	地域	第8回 震災を忘れないメモリアルコンサート	特定非営利活動法人ええうた工房	2	11	～	2	11	フレンテホール	震災を忘れないメモリアルコンサートの8回目の開催。 ジャズ風のミサでメモリアルの気持ちを表現しながら、冬季オリンピックゆかりの曲で元気が出て安らぎと復興へとつなげていける演奏会を開催。	260
140	阪神北	地域	自治会員の防災意識喚起と自主防災対策の実技訓練	仁川高丸自治会・自主防災会(宝塚市)	9	1	～	10	31	仁川高丸自治会館	宝塚消防署員を講師に招いての講習会 ・防災・減災に関する講話 ・消火器・AED・心肺蘇生術等の講話・実技訓練 ・防災用具(避難はしご・担架・台車・バール等)、車いす等の実技訓練 ひょうご防災特別推進員による防災・減災の講話と家具等の転倒防止グッズ及び火災報知器取付け実践 災害時の応急措置としての食料の加工・試食訓練	54
141	阪神北	地域	緑台・陽明地区自主防災総合訓練	緑台・陽明地区自主防災会(川西市)	10	27				緑台小学校	防災訓練マニュアルに基づく避難・炊き出し等の訓練 ・災害時要援護者を中心に防災・防火・避難誘導訓練 ・炊き出し、備蓄用食糧の試食 ・川西消防署に依頼し、幼稚園児、低学年児童を対象に火災に対する体験学習を実施	370
142	阪神北	地域	みんなでつくる地域防災	高司小学校区まちづくり協議会(宝塚市)	7	1	～	12	31	高司小学校 高司中学校	8地区自主防災会による当該地区のハザードチェック、要援護者の確認、避難ルートの設定作業 上記を元にハザードマップを作成し全戸(2500戸)へ配布、啓蒙を行う 夜間及び昼間の総合防災訓練を実施	1,500

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
143	阪神北	地域	弥生が丘 防災自助力向上計画	弥生が丘自治会 (三田市)	7	1	～	12	31	弥生が丘コミュニティーセンター及び弥生小学校	<ul style="list-style-type: none"> 防災マニュアルの作成と配布 地域の合わせた防災・減災対策、要援護者対策を記載 避難訓練 要援護者の避難経路の検証、避難所・救護所の開設訓練 応急救護訓練 消防署員による心肺蘇生法、止血法の講習会 学童の防災教育 防災士による防災・減災対策の講義、実習 	700
144	阪神北	地域	地域防災力強化のための地域一斉大規模避難訓練	中山台コミュニティエリア 災害対策委員会 (宝塚市)	7	1	～	2	28	晋栄福祉会中山ちどりほか	<ul style="list-style-type: none"> 大規模防災訓練及び学校独自の防災訓練、及び講習会 要援護者安否確認訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練 小学校全校生徒を対象とした児童引き取り訓練、煙体験訓練 青少年育成市民会議の協力のもとにトランシーバーや伝令を使っ ての情報伝達訓練 止血法・骨折手当等の応急措置訓練、AED操作訓練を「防災キャラバン」と題して数日間に渡って実施 住宅耐震化・室内安全対策についての学習 	732
145	阪神北	地域	災害時要援護者ハザードマップ作成事業	北野自治会 北野災害時支援 協力者の会 (伊丹市)	9	1	～	2	28	北野センター	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者ハザードマップ作成と避難訓練 要援護者の避難について検討 検討をうけて北野地区のハザードマップを作成 自主防災会訓練で要援護者避難訓練を実施 ハザードマップを要援護者・支援員に配布 	90
146	阪神北	地域	災害時要援護者支援活動の展開	稲野自治会	11	1	～	3	10	伊丹市共同利用 施設稲野センター	<ul style="list-style-type: none"> 防災をテーマとした講演会の実施。 炊き出しなどの防災訓練の実施。 人と防災未来センターへの見学会の実施。 要援護者と支援者の勉強会、意見交換、IDカードの作成。 システムは出来ているのに、いざという時に機能しないことがないよう、地域の防災に対する実践力を高める。 	537
147	阪神北	地域	松尾台校区まちづくり協議会防災訓練	松尾台校区まちづくり協議会	11	3	～	11	16	稲川小学校等	<ul style="list-style-type: none"> 水害を想定した避難訓練の実施(グループでロープを使用しての集団での避難訓練)。 展示ブース、避難所生活体験。 防災ビデオ上映。 	71
148	阪神北	地域	「防災あんしん手帳」作成	多田小学校区コミュニティ推 進協議会	11	1	～	3	31	多田コミュニティー 会館	<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えた予備知識、要援護者支援対策を網羅した冊子「防災あんしん手帳」(約20項)の作成。 自治会、防災会、福祉委員会による作成委員会が作成。 作成した「ぼうさい安心手帳」を全世帯に配布し、災害に備えた知識の向上、要援護者に対する支援。 手帳をもとに後に災害避難訓練を実施。 	5,000

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
149	阪神北	地域	堂の前自治会のハザードマップ作成	千僧堂の前自治会	11	5	～	3	25	堂の前センター	自治会により地域のハザードマップの作成。 災害時の避難及び訓練に活用することにより、住民の防災意識の向上を図った 2012年より継続的に検討を重ねてきものを冊子として作成し、今後の訓練に活用する。	200
150	阪神北	地域	～1.17は忘れない～池小地区防災・避難訓練	池尻小学校区まちづくり協議会	12	1	～	12	1	池尻小学校 グラウンド及び体育館	要援護者の避難訓練。 倒壊家屋からの避難訓練。 応急救護訓練。 炊き出し訓練。 防災特別推進員による家具の転倒防止講座と取付練習。	190
151	阪神北	地域	長尾地区 災害時一人も見逃さない 地域合同防災訓練	宝塚市長尾地区まちづくり協議会	12	10	～	2	12	長尾小学校 長尾南小学校	長尾南小学校、南ひばりガ丘中学校施設に特化した避難所運営委員会行動マニュアルを作成。 長尾小学校に加え、長尾南小学校、南ひばりガ丘中学校の防災訓練(避難所開設訓練)の実施。 3校合同で長尾地区総合防災訓練(避難所開設訓練)の実施。	1,600
152	阪神北	地域	防災フェア ～皆で守ろう わが街・いのち～	能勢口商業協同組合	12	14	～	12	14	川西能勢口駅東 側・阪急高架北側 高架沿い	救急講習(AED)、消火器操作訓練。 消防車、JAF車の展示等。 防災講話、震災パネル展示。 炊き出し訓練、非常食配布 等	800
153	阪神北	地域	防災の備えと地域の絆を高めるまちづくり (大和夢ナリエ)	大和の夢かなえたい実行委員会	11	1	～	2	28	平木谷池公園南 側及び能勢電鉄 畦野駅前ロータ リー	震災記録・写真・ポスター等防災情報コーナー、家具転倒防止、身を守る方法等のボード設置。 避難経路確認。 炊き出し、ライトアップ、地域との交流会	17,000
154	阪神北	地域	東日本大震災被災者支援チャリティー クオレリレーコンサートin宝塚	宝塚市自治会連合会	1	5	～	1	5	宝塚ベガホール	大阪音楽大学教授林誠氏を中心とするクレオの会による、東日本大震災被災者を招いてのチャリティーコンサート。 交流を深めている福島県須賀川市や、南相馬市小高小学校の方をお招きし、ステージ上から来場者に対し、防災、命の大切さなどの話。 コンサート後は阪神淡路大震災の被災者である宝塚市民と東日本大震災被災者として交流。 全市民の命の大切さ、助け合いの心、安全に対する意識を高める機会とできた。	450
155	阪神北	地域	けやき台総合防災訓練	けやき台自主防災会	1	13	～	1	13	けやき台小学校 グラウンド	消火器を使用した初期消火訓練、避難所までの避難訓練、煙体験ハウスによる避難体験実施。 炊き出しを応急救護講習及び救出用具の展示による防災啓蒙策の実施。	1,000

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
156	東播磨	地域	防災デイキャンプ&防災フェア	はりまデザインラボ	7	1	～	10	31	県立東はりま特別支援学校 地域連携交流施設	防災対策・課題や要援護者の防災について考える防災検討会議の実施。 9月に実践を兼ねた啓発イベントである防災デイキャンプを行い、後日意見交換会を開催して、課題や対策についてとりまとめた。	700
157	東播磨	地域	加古川グリーンシティ防災まちづくり推進事業	加古川グリーンシティ防災会	11	1	～	3	31	加古川グリーンシティ 他	市民救命士養成講座の実施、災害を想定した炊き出し訓練の実施。 中高層住宅災害に特化した防災訓練実施及び安全対策の実施。 青少年防災育成事業パブリックビューイング、IP網利用による「防災意識の向上と啓発、活動の実施。 防災減災啓発学習の実施、ちからこ部(特技登録)及びあったカード(要援護者対策)の登録啓発 地域FM局BANBANラジオと防災コラボレーションの実施	1,600
158	東播磨	地域	尾上地区防災・減災フェスティバルならびに避難訓練	養田まちづくり委員会	11	1	～	3	31	尾上町養田公会堂、人と防災未来センター	山崎断層大地震を想定した避難訓練と情報の確認。 防災施設の見学と防災活動先進地との交流会の実施。 フェニックス共済の加入啓発。	510
159	東播磨	地域	災害時要援護者が自ら考える避難・啓発ワークショップ&防災用品展示会の開催	明石の災害時要援護者の避難を考える会	11	1	～	3	31	中尾会館、魚住市民センター他	災害時要援護者支援交流会・ワークショップの開催。 災害時要援護者支援連続セミナーの開催、ひょうご防災特別推進員の活用。 明石市錦浦小学校区防災通信(防災パンフレットの作成)。 加古川グリーンシティ(自主防災組織)への視察・交流	90
160	東播磨	地域	地域内の共助による地震への備えの実施(家具固定とバンパーシェルター)	松風会	11	1	～	3	31	松風公園、加古川サティ、六甲アイランド	地震災害への備えとして、今すぐできる室内安全対策(片づけ、家具配置変更、家具固定まで)の必要性の啓発、巨大災害時の生活空間の確保のための身近にある竹を使ったバンパーシェルターづくりの講習会。	1,090
161	東播磨	地域	給食施設における緊急時相互支援実地訓練	明石給食施設協議会	11	1	～	3	17	明石健康福祉事務所、あさぎり病院	災害を想定した訓練(伝達訓練、実地訓練)。 ・「地震により被災したために食事が提供できなくなった」と想定し、会員施設間で食事提供支援するための緊急時連絡訓練及び実地訓練(食事提供のシミュレーション)を実施。 緊急時連絡訓練及び実地訓練を企画・運営・評価するためのワーキング会議の開催。	75
162	北播磨	地域	ピアン自治会防災訓練・避難訓練	ピアン自治会防災組織(三木市)	9	23	～	12	9	ピアン集会所	消火栓操作・消火器操作・火災報知器を使った通信訓練・要援護者避難訓練 ・要援護者及び高齢者の避難訓練をボランティアの協力によって行う。 ・防災ゲーム ・住民による炊き出し	94

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
163	北播磨	地域	西田町自主防災訓練	西田町自主防災会 (三木市)	9	22	～	9	22	兵庫県広域防災センター	町内では実施する自主防災会では実施出来ない訓練を広域防災センターにて実施。 ・煙避難体験 ・地震体験 ・放水訓練	40
164	北播磨	地域	2013 三木さんさんまつり&防災意識の向上と東日本震災復興支援	三木さんさんまつり実行委員会	10	6	～	10	6	三木市緑が丘町	三木さんさんまつりにおいて防災啓発 ・煙のトンネル体験・消火器による消火訓練 ・心肺蘇生訓練・東日本大震災被災地との交流 ・フェニックス共済PR等	12,000
165	北播磨	地域	自由が丘連合自主防災会自主防災訓練	自由が丘連合自主防災会	1	18	～	1	18	自由が丘中央公園	避難・誘導訓練。 給水、炊き出し訓練。 煙避難訓練。 救急・救命訓練。 初期消火訓練。 自由が丘消防隊による救急搬送訓練、実践放水訓練の実施。	538
166	中播磨	地域	ちびっこ防衛隊2013!!～防災マップ～	BOY自然活動教室	5	19	～	5	19	姫路市広畑公民館、須磨浦公園、人と防災未来センター	・子どもたちが須磨浦公園にて安全マップづくりを体験、人と防災未来センターで防災学習を実施。 ・三角巾による応急処置方法を体験(姫路市広畑公民館) ・作成した安全マップの発表会を開催(姫路市広畑公民館)	60
167	中播磨	地域	避難所でのクロスロード体験学習	高町自主防災会	6	16	～	6	16	姫路市飾磨区・高町公民館	・避難所での活動を疑似体験を通して学ぶためにクロスロード体験を行った。 ・老人会、婦人部、農区、中学生、保護者等の多くの参加をえられた。	51
168	中播磨	地域	市川町川辺地区 地域防災力強化訓練	川辺地区自主防災会 (市川町)	9	1	～	9	1	市川町公民館・市川町スポーツセンター	・防災訓練の実施 ・避難所開設訓練 ・避難誘導訓練 ・炊き出し訓練 ・同日に開催された兵庫県合同防災訓練との連携	380
169	中播磨	地域	地域の絆「防災活動」	小瀬自治会 (姫路市)	5	8	～	9	30	小瀬公園周辺(小瀬集会所、保育所、マンション)	地震・津波・洪水災害想定避難訓練(保育所の園児を住民と保育所が一体となって避難誘導) 阪神淡路大震災での家具転倒による被害事例講習や家具転倒防止の体験講習	285

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
170	中播磨	地域	上原田地区自主防災訓練	上原田自主防災会 (姫路市)	10	20	～	10	20	上原田スポーツ公園	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の実施 避難誘導訓練 消火栓放水訓練 消火器による消火訓練 消防車放水訓練 被災者の救護訓練 薪での炊き出し訓練 防災用機器の点検 交通規制訓練 	406
171	中播磨	地域	消火訓練及び炊出し訓練並びに防災マニュアル、マップ修正配布	御幸自治会	10	25	～	1	17	恵美酒神社境内 及び御幸公民館	<ul style="list-style-type: none"> 学生及び高齢者中心の消火訓練と 米試食会。 炊き出し訓練。 防災マニュアル、マップの修正と全戸配布。 	145
172	中播磨	地域	自主防災かみかわ第1支部防災訓練	自主防災かみかわ	11	3	～	11	3	大畑区グラウンド ほか	<ul style="list-style-type: none"> 一次避難所、二時避難所を設定した避難訓練。 消火訓練。 アマチュア無線での情報収集伝達訓練。 各区民政児童委員による未避難者の安否確認訓練 炊き出し訓練 等 	614
173	中播磨	地域	もしもに備える「英賀保のつどい」	英賀保地区連合自主防災会	11	24	～	11	24	英賀保小学校体育館	<ul style="list-style-type: none"> 姫路市副市長の防災に関する講演。 公助中心から自助・共助への地域防災の強化。 クロスロード体験。 災害時のジレンマに直面する心構えの精神を育てることができた。 	260
174	中播磨	地域	東日本大震災被災地と兵庫を結ぶソーシャルメディア交流会	ソーシャルメディア姫路交流会	2	7	～	2	7	ハルモニア	<ul style="list-style-type: none"> 東北活動支援を実施している音楽グループのライブ、支援報告 避難所の班長であった方の体験談を通じて、被災地支援の必要性、理解を深める。 	36
175	中播磨	地域	“備えあれば憂いなし”いつもこころに「防災・減災」城西地区防災訓練	城西地区連合自治会	1	26	～	1	26	姫路市立城西小学校	<ul style="list-style-type: none"> 地区住民及び小学児童の避難誘導訓練。 要援護者の避難訓練の実施。 初期消火訓練。 応急救護訓練 東日本大震災及び姫路市の防災についての講演 	880
176	西播磨	地域	千種災害対策プロジェクト	千種災害対策プロジェクト実行委員会	7	1	～	12	31	県立千種高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 千種町における洪水・浸水被害を想定して、ハザード模型による防災・減災対策を構築。 木造住宅模型を作る過程において、災害の意識の啓発。 ハザード模型や千種産木材を使った住宅模型を貴重なメッセージとして、身近なところから、我々の力で出来る防災・減災対策を考えた。 	250

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
177	但馬	地域	平成25年度 養父市一斉災害避難モデル地区訓練	建屋区 (養父市)	9	1	～	9	1	建屋公民館	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の実施 災害時に全区民がすばやく避難できるよう要援護者避難訓練 応急手当訓練 消火訓練 炊き出し 	176
178	但馬	地域	香美町香住区 柴山地区防災訓練マニュアル化事業	柴山地区協議会	11	1	～	3	31	香美町香住区 柴山地区内	<ul style="list-style-type: none"> 8月に実施した防災訓練について、柴山3地区民を対象にアンケートを実施し、それに基づき検証、検討を行い、災害発生時の区民の安全を確保するための防災マニュアルを作成。 災害に直面したときの安全行動やハザードマップを掲載したパンフレットを作成し配布。 	800
179	但馬	地域	防災勉強会	大磯区自主防災会	11	3	～	11	3	大磯会館	<ul style="list-style-type: none"> 水害等から地域を守るため、地道な取り組みにより防災体制を構築している先進事例に学び、大磯地区の体制整備。 防災訓練 区内巡回点検 防災学習会 	41
180	丹波	地域	地域防災力アップ事業	丹波市防災会	11	1	～	3	31	・丹波市内自治会 公民館 等	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災訓練：地域自主防災会防災訓練の際、煙体験、水消火器、AED講習会、炊出し、どのう積み訓練、簡易応急処置等の指導、避難訓練、防災講話実施、フェニックス共済の周知。 丹波市合同訓練：市の合同訓練内において、防災ブースを開設し、煙体験、水消火器訓練、応急処置方法、フェニックス共済の周知。 	690
181	淡路	地域	プロジェクト福良～南あわじ市福良地区における防災拠点活用と防災意識の啓発～	神戸大学大学院工学研究科 遠藤研究室	7	20	～	10	20	ふくらぼ(福良地区の古民家)	<ul style="list-style-type: none"> 淡路福良地区の古民家を改修(耐震化)し、防災拠点の改修・耐震化をし防災拠点として活用 防災学習 地域住民への防災意識の啓発 	300
182	淡路	地域	“自助・共助。”で災害に慌てない出店町	出店町内会防災会 (洲本市)	7	28	～	9	15	出店町内会館 ほか	<ul style="list-style-type: none"> 防災講習会 高齢者を意識し、災害時の個人の意識の高揚 家具転倒防止グッズの使用説明と取り付け方法 避難訓練の実施 ルートの時間測定と誘導方法の検証 ルート上の危険箇所チェック 非常用保存食品の紹介と試食 	69

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
183	淡路	地域	福良地区防災フェスタ	福良地区防災フェスタ実行委員会	10	6				福良港津波防災ステーション	防災ステーション学習室において、地元民、観光客に学習リーダーによる防災学習 防災グッズの展示、津波に関する防災クイズ フェニックス共済制度の啓発 福良街歩き「福良路地裏探訪」津波からの避難路等を確認、非常食の試食、炊き出し訓練	600
184	淡路	地域	「防災・減災の日」啓発活動	洲本市建設業協同組合	10	21	～	10	28	洲本市福祉会館	10月20日を「防災・減災の日」と位置づけ、洲本市各地に横断幕、のぼりを設置し防災・減災のPR活動を実施。 ・災害時の応急復旧等の講習会開催し、防災に関する啓発活動を行った。	34
185	淡路	地域	フェニックス合唱団鎮魂の譜	北淡震災記念公園	1	17	～	1	17	北淡震災記念公園	震災記念の日時に、復興への想いを込めて、歌を参加者全員で合唱。 参加者に住宅耐震化のチラシを配布する。耐震化を促し、室内安全対策のビデオを放映することで安全対策の実施を呼びかける。 炊き出しを実施。 震災犠牲者を追悼し、広く震災の体験を語り継ぐことにより、防災意識を向上させる契機とできた。	200
186	淡路	地域	防災意識高揚のつどい	ウエストコーストぐんげ商店街協同組合	1	17	～	1	17	復興拠点ゾーンコミュニティ住宅前広場	町内会別避難訓練の実施、ハザードマップ説明会。 停電時のアークライト活用炊き出し体験。 鎮魂キャンドルの設置。 鎮魂のハンドベル、消防隊ラッパ演奏、和太鼓演奏 防災特別推進員による防災啓蒙講演会の開催	250
187	阪神南	全県	やさしい防災・減災カルタによる地域・学校における防災学習の推進	NPO法人兵庫県暮らしにやさしい防災・減災	4	1	～	9	30	小学校幼稚園、高齢者・障害者施設など	・幼児、高齢者、障害者なども含めたみんなの命を災害から守ることを願い創作した「防災・減災カルタ」「塗り絵」「紙芝居などを用いた防災教育を推進。 ・防災士(4名)を配し、各施設等で活動。 ・夏休みに石巻などから生徒達を神戸に招き、人と防災未来センターでの交流会に参加。	221
188	神戸	地域	阪神から東日本へ 復興後方支援フォーラム	阪神から東日本へ 復興後方支援ユニット@神戸	4	1	～	9	30	安心コミュニティプラザ 風の家	・阪神・淡路大震災をはじめ過去の教訓を東日本の現状や今後の南海・東南海のリスクに照らして情報紙に編集、復興後方支援フリーペーパーとして支援者等に配布する。 ・被災地支援や今後の減災のあり方を探るパネルディスカッションを開催した。	20
189	神戸	地域	被災者・市民 福祉生活法律税金健康無料相談活動	ひょうご福祉ネットワーク	4	1	～	9	30	神戸市内	・無料巡回相談、炊き出し配食活動の実施(月1回第4土曜午前) ・事務所にて無料電話相談と来所による相談活動を実施(月～金・午前中)	182

平成25年度ひょうご安全の日推進事業(助成金)実績一覧

番号	県民局	事業区分	事業名	実施団体名 共同事業は申請代表者	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加人数
					月	日	～	月	日			
190	神戸	地域	兵庫区保育所防災フェア2013	神戸市兵庫消防団	5	29	～	5	29	兵庫区公会堂、湊川公園	・区内保育所と関係機関の相互教育を図り、防災教室を開催し地域防災力向上を目指した。 ・避難訓練、煙体験、非常食体験 ・消防車、消防訓練の見学	350
191	阪神北	地域	“共に歩む”復興への道(歌津と宝塚の交流、そして発信)	歌津応援団@たからづか	4	19	～	4	21	ボランティアの広場ぶらざこむ1	・基調講演「南三陸町からのメッセージ」 ・南三陸町からまちづくりをしている方々を招き、被災地でのボランティア経験者と交流会を開催。震災パネル写真展示、歌津物産や支援グループバザーの開催。 ・宝塚市内の復興住宅、防災施設、震災モニュメントの見学など。	100
192	但馬	地域	～1.17は忘れない～秋葉台地区防災訓練	秋葉台町内会自主防災会	5	19	～	5	19	新温泉町・秋葉台地区第2公園ほか	・避難訓練、要援護者救出訓練、消火訓練(消火栓による放水)、炊き出し訓練 ・ひょうご防災特別推進員による防災講義	229

区分	件数	交付決定額(千円)
全県事業	88	42,697
地域事業	104	21,435
合計	192	64,132